

ISSN 1340-2412
調査研究報告書 No.88
1997

外国人研修生の職業訓練に関する調査研究

雇用促進事業団

職業能力開発大学校 研修研究センター

研究プロジェクトメンバー（順序不同）

- | | |
|-------|------------------------|
| 村田利明 | (株) 戸塚工業所 |
| 高山政晴 | (株) コミヤマ工業 |
| 高見利輝 | (財) 国際研修協力機構 |
| ○稲川文夫 | (財) 海外職業訓練協会 |
| 上田克己 | 山梨職業能力開発促進センター |
| ○岩里茂 | 山梨職業能力開発促進センター |
| ○小倉繁 | 千葉職業能力開発促進センター |
| 太田雅啓 | 職業能力開発大学校研修研究センター開発研究部 |
| 更科利夫 | 職業能力開発大学校研修研究センター開発研究部 |
| ○福元基 | 職業能力開発大学校研修研究センター開発研究部 |
| ○島静康 | 職業能力開発大学校研修研究センター開発研究部 |
| ○中井修 | 職業能力開発大学校研修研究センター開発研究部 |

(注) ○印は執筆者である。

まえがき

この報告書は、労働省の要望を受けて当研修研究センターが平成8年度に実施した外国人研修生の訓練方法等のあり方に関する調査研究の結果をとりまとめたものである。

近年における我が国経済の進展に伴い、諸外国との相互依存関係が深まる中で、外国人研修生の受入れが年々増加してきている。外国人研修生の受入れは、特に開発途上国における経済発展の基盤となる人づくり協力の一つとして大きな役割を果たしてきており、中小企業団体・企業等は、外国人研修制度の充実と相まって、開発途上国から外国人研修生を積極的に受け入れている。

しかし、こうして来日する多くの外国人研修生は、言葉や生活習慣等の異なる中で、限られた研修期間内に技術・技能をマスターしなければならないので、研修生を受け入れる団体、企業等も、言葉や生活習慣等の不安を取り除き、研修生が安全に技術・技能を習得できるよう、きめ細かな配慮を行いながら、外国人研修を実施しなければならないなど様々な問題を抱えている。

そこで、当研修研究センターでは、労働省の要望を受けて、これまでの各種の調査研究では、必ずしも十分明らかにされていない外国人研修生の実務研修、即ち職業訓練に関する実態や問題点を明らかにし、今後の外国人研修の運営に資するため、外国人研修生を受け入れている団体・企業等を対象にしてアンケート調査等を実施した。

本報告書は、その調査結果をとりまとめたものである。本書が外国人研修に携わる方々や同制度に関心のある方々の参考となれば幸いである。

なお、ご多忙のところ、本調査にご協力をいただいた（財）国際研修協力機構並びにアンケート調査等にご回答いただいた方々に心から厚くお礼申し上げたい。

平成9年3月

職業能力開発大学校
研修研究センター

調査研究報告書 No. 88
外国人研修生の職業訓練に関する調査研究

発行	1997年3月
編集・発行人	職業能力開発大学校研修研究センター 〒229-11 相模原市橋本台4-1-1 TEL 0427-63-9047 (広報普及室)
印刷	株式会社 芳文社 〒194 東京都町田市忠生1-18-18 TEL 0427-92-3100
